

2021/8/25 (Wed.) 第131号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
－ 発行所 －
日本医師連盟
東京都文京区本駒込6-12-1
SSかごまち301号室
〒113-0021
TEL: 03-3947-7815
FAX: 03-3947-2662
E-mail: info01@nichiiiren.jp

<http://www.nichiiren.jp/>

定価 1年400円 (但し日医連負担金に含む)

中川日医連委員長(日本医師会会長)

新型コロナウイルス感染症に係る 診療報酬上の特例的な対応の継続および 国庫補助の充実等を要望



7月20日 田村厚労大臣に要望書手交
(左から、松本常任執行委員、中川委員長、田村厚労大臣、今村副委員長)

中川委員長は、わが国での新型コロナウイルス感染症の全国的な感染急拡大に伴う受診控えの大きな影響などにより、医療機関の経営状況が逼迫している窮状を踏まえ、田村厚労大臣、二階自民党幹事長をはじめとする自民党国会議員に対し、新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の特例的な対応の継続ならびに国庫補助の継続・充実を求める陳情を関係役員とともにいった。

が続き、二〇二一年三月・四月について

も依然としてマイナスとなっている、(二)二〇二一年四月の初・再診料の算定回数は、対前年同月比でプラスとなったものの、二〇二〇年四月は受診控えの影響を大きく受けていることに鑑みると、回復したといえる水準ではない―等を示して、医療機関の窮状を報告した。「新型コロナウイルス感染症に対する医療とそれ以外の通常医療との両立を守るためにも、地域を面として支えている医療機関への支援は不可欠だ」として、九月までの期限措置となっている診療報酬上の加算(①乳幼児感染予防対策加算②医科外来等感染症対策実施加算③入院感染症対策実施加算)の継続・充実を求めた。

二階自民党幹事長へ要望

中川委員長は七月二十六日、城守国斗常任執行委員(日医常任理事)とともに自由民主党本部を訪問し、二階幹事長と会談し、要望書を手交した。

中川委員長は七月二十六日、城守国斗常任執行委員(日医常任理事)とともに自由民主党本部を訪問し、二階幹事長と会談し、要望書を手交した。

これらの要望に対して、田村厚労大臣はじめに、「ワクチン接種が進んでいることに対する全国の医師会の協力に感謝申し上げる」としたうえで、「この問題は、新型コロナウイルス感染症の感染状況にも大きく関わっている問題であるが、継続できるよう、厚労省としても精一杯努力していきたい」と述べた。また、二階幹事長からは、林幹雄自民党幹事長代理も同席し、陳情の内容について一定の理解を示し、自民党として厚労省、財務省への働きかけを行う意向を示した。

伊吹衆議院議員への陳情

中川委員長は七月二十九日、城守常任執行委員とともに衆議院議員会館を訪問し、伊吹議員と会談し、陳情を行った。そのなかで、国庫補助の申請に関する、都道府県の担当窓口が申請の内容について細かな確認を行い、修正の指示や差し戻しなどが多数発生している現状があるとの訴えが全国の



7月29日 伊吹議員に要望書手交(左から中川委員長、伊吹議員、城守常任執行委員)



7月26日 二階幹事長、林幹事長代理と(前列左から中川委員長、二階幹事長、林幹事長代理、後列左から城守常任執行委員、今村副委員長)

(2面へ)

尾辻参議院議員へ要望

さらに、中川委員長は八月五日、城守常任執行委員とともに参議院議員会館を訪問し、尾辻議員と会談し、要望書を手交した。

尾辻議員からは、はじめに八月三日に行われた菅義偉内閣総理大臣との会談についての労いがあり、新型コロナウイルスワクチン接種に関しては、全国の医療機関、医師に対する謝意が述べられた。また、医療機関の現状について、認識を深め、陳情の趣旨に対して理解を示した。



8月5日 尾辻議員に要望書手交（左から城守常任執行委員、尾辻議員、中川委員長）

（一面より）
を説明した。伊吹議員からは、申請内容を確認する作業の必要性については一定の理解は示しつつ、申請を阻害する要因となっているようであれば、国として対応を行っていくとの回答を得た。また、診療報酬上の特例的対応についても理解を示し、令和3年度内における補正予算での対応や、来年度予算についても、党内での議論を始めていくとの意向を示した。

このほかの陳情先（日付順）

・衆議院議員

鴨下一郎元環境大臣（七月十三日）、下村博文自民党政務調査会長、後藤茂之自民党政務調査会長代理、とかしきなおみ衆議院厚生労働委員長、橋本岳元厚生労働副大臣（七月十五日）、安藤高夫自民党厚生労働部会副部長（七月二十六日）、山下貴司元法務大臣（七月二十九日）

日、今枝宗一郎前財務大臣政務官（八月五日）
・参議院議員

武見敬三元厚生労働副大臣、宮沢洋一自民党税制調査会小委員長、福岡資麿自民党厚生労働部会長（七月十五日）、自見はなこ自民党厚生労働部会副部長（七月二十七日）、羽生田俊自民党厚生労働部会長代理（七月二十九日）

令和4年度医療に関する税制要望について陳情活動を開始

来年度に向けた医療に関する税制要望活動が始まった。今回の要望事項は、「医療経営五項目」「勤務環境」「健康予防」「二項目」「医療施設・設備」「五項目」「その他」「五項目の計十八項目（別掲）である。

まず、税制担当の猪口雄二日医連副委員長（日医副会長）は、同じく税制担当の宮川政昭同常任執行委員（同常任理事）とともに衆議院議員会館を訪問し、甘利明自民党税制調査会長と、次に宮川常任執行委員が参議院議員会館を訪問し、福岡資麿自民党厚生労働部会長とそれぞれ会談し、要望内容について説明を行った。甘利自民党税制調査会長、福岡自民党厚生労働部会長ともに、日医連役員の説明に概ね理解を示した。

今後さらに、自民党税制調査会幹部をはじめとする関係議員に対する要望活動を本格化させていく。



甘利自民党税制調査会長に要望書手交



福岡自民党厚生労働部会長に要望書手交

令和4年度 医療に関する税制要望

公益社団法人 日本医師会 令和3年8月

控除対象とする措置を講ずること。

○健康予防

- 7 たばこ税の税率引き上げ。
- 8 指定運動療施設の認定要件の見直し－医療費控除の対象の見直し。

○医療施設・設備

- 9 病院・診療所用の建物の耐用年数を短縮。
- 10 医療機関が取得する償却資産に係る固定資産税についての所要の税制措置。
 - (1) 生産性向上特別措置法による固定資産税軽減措置について医療法人等の非営利法人を適用対象に加えること。
 - (2) 医療機関が取得する新規の器具・備品や建物付属設備などの償却資産の投資に係る固定資産税軽減措置を全国一律の要件で適用する措置として講ずること。
 - (3) 固定資産税の償却資産の申告期限を法人税申告期限と統一すること。
- 11 医師少数区域等に所在する医療機関の固定資産税・不動産取得税に係る税制措置の創設。
- 12 医療機関の防災・減災対策を支援するため、以下の措置を講ずること。
 - (1) 医療機関が取得した耐震構造建物、防災構造施設・設備等に係る税制上の特例措置を創設すること。
 - (2) 中小企業防災・減災投資促進税制について医療法人等の非営利法人を適用対象に加えること。
- 13 地域医療構想実現に向けた税制上の優遇措置の拡充。

○その他

- 14 社会保険診療報酬の所得計算の特例措置（いわゆる四段階制）存続。
- 15 公益法人等に関わる所要の税制措置。
 - (1) 医師会について
開放型病院等の法人税非課税措置の拡充、開放型病院等の固定資産税等非課税措置の恒久化、その他の措置。
 - (2) 公益法人等への課税強化を行わないこと。
 - (3) 一定の医療保健業を行う非営利型法人等に係る固定資産税等軽減措置及び公益目的事業として行う医療保健業に係る固定資産税等軽減措置。
- 16 社会医療法人・認定医療法人等の認定要件等における補助金収入の取扱いの見直し。
- 17 新型コロナウイルス感染症に対応する医療機関・医療従事者に対する税制措置。
- 18 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者に対する税制措置。

少子・高齢化の進展に伴い、医療・介護・福祉の充実は、国民の要望であります。医師の不足や偏在による地域医療崩壊が懸念される中で、その必要性も一層強いものになっています。

しかし、医療環境の厳しさが増すなかで、医療や介護の提供は、自助努力にもかかわらず、医療経営は年々厳しくなっております。

国民が健康で文化的な生活を維持するために、質の高い医療や介護を安心して受けることができる医療提供体制の整備や、健康管理・予防面などについての環境づくりが求められています。そのためには、医療や介護を担う病院・診療所等が医療経営の安定を図り、業務や設備施設の一層の合理化、近代化を進め、医療関係職員の確保・育成など、確固とした経営基盤を整え継続できるものとする必要があります。

このため、税制面においては、法整備を含めて、現在の医療経営の健全化のため、さらに進んで医療経営の長期安定、再生産を可能とするための新しい医療の構築を図り、医師をはじめ医療従事者の自発的努力が一層発揮できるよう、また、国民の健康管理・予防などのため、令和4年度には次のような思い切った改革が行われるよう強く要望します。

○医療経営

- 1 社会保険診療等に係る消費税について、一定の医療機関においては従前通り非課税のまま診療報酬上の補てんを継続しつつ、消費税負担の大きな医療機関においては軽減税率による課税取引に改めることを含め、見直しを検討すること。
- 2 医療を承継する時の相続・贈与に係る税制の改善。
 - (1) 医療法人の出資に係る相続税及び贈与税の納税猶予制度の創設。
 - (2) 医療法人の出資の評価方法の改善。
 - (3) 基金拠出型医療法人における負担軽減措置の創設等。
 - (4) 認定医療法人制度の拡充。
 - (5) 出資額限度法人の持分の相続税・贈与税課税の改善。
 - (6) 個人版事業承継税制の改善。
- 3 社会保険診療報酬に対する事業税非課税の存続。
- 4 医療法人の事業税について特別法人としての軽減税率課税の存続。
- 5 訪日外国人患者の増加に対応する所要の税制措置。

○勤務環境

- 6 少子化対策及び、病院等に勤務する医療従事者の子育て支援並びに勤務環境を改善するため、下記の措置を講ずること。
 - ・ベビーシッター等の子育て支援のサービス利用に要する費用を、税制上の

自見先生からご寄稿いただきました

参議院議員 自見はなこ 活動報告

「国民医療の発展に向けて」



中川俊男委員長をはじめ、日本医師連盟の先生方におかれましては、平素より大変お世話になっております。またこの度のワクチン接種や発熱外来、重症者の治療を含む医療・検査提供体制、保健所支援など、さまざまな方面での先生方の獅子奮迅のお働きで国民の命と健康を守っていただき心から感謝申し上げます。

今回の新たなデルタ株の流行という事態を迎えています。デルタ株は、米CDCの報告書で水痘なみの感染力をもつとされており、感染拡大地域では中等症の患者も入院できない事態が起きておりますが、ブレイクスルー感染による医療従事者の感染も増えており、医療現場や介護施設等でも院内感染、施設内感染にさらに警戒する必要があります。加えて、現在の急速な感染拡大に、医療現場の対応するため酸素投与が必要な在宅療養者向けの酸素ステーションの整備や、医療機関以外でも抗生薬を集約したカクテル療法を実施できる体制整備も喫緊の課題です。

全世代へのワクチン接種がある一定程度まで行き渡り、インフルエンザの場合でいうタミフルのような経口治療薬が世に出るまでは、まだ数カ月がかかると思います。その間、それぞれが感染対策を徹底し、自分の命を守る行動を取るよう呼びかける必要があります。つい先日、自宅療養中の妊婦が、入院先が見つからずに自宅で出産し、新生児が亡くなるという痛ましい事故がありました。九月からは学校も始まります。妊婦や子どもなど弱い立場の方々を守る政策にも力を入れて参ります。

新型コロナウイルスに係る診療報酬の特例も九月末に区切りを迎えますが、引き続きコロナ対応や非コロナ対応部分での医療機関の安定的な運営がはかられるよう全力を尽くして参ります。このような非常時こそ、先生方のお声を国に届ける役割の重要性を痛感しております。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、心よりお願い申し上げます。

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

この点について、八月五日の参議院厚生労働委員会にて田村憲久厚生労働大臣に質問し、田村大臣からも変異株の感染力が従来とゲタが違ふことへの厳しい現状認識が示されたうえで、感染が拡大する地域では病床に限りがあり、どうかこの夏はリスクの高い行動は控えてほしいとご答弁いただきました。

この質問がきっかけで、八月からは都道府県別の接種率が公表されることとなり、基礎自治体ごとのワクチンの偏在について適切に把握し、都道府県が調整を担うことで円滑な接種につなげることができるようになりました。

「何でも庁」創設に向けた進捗

ワクチンの不足状況について、七月八日の参議院厚生労働委員会の閉会中審査で質問しました。

迅速なワクチン接種のため、国の支援策等も活用しつつ体制を整えた医療機関も多数あり、

「何でも庁」創設に向けた検討

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

「何でも庁」創設に向けた進捗

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問



7月9日 オリパラ関係者のPCR検査や選手のドーピング検査等を担うLSIメディエンス中央総合ラボラトリー（東京都板橋区）を、下村博文自民党政務調査会長、三ッ林裕巳内閣府副大臣とともに視察しました

医療機関が逼迫する状況で、今までのような中等症を含めた入院・宿泊療養による対応から、今後は、とくに軽症の若者などは可能な限り在宅での対応が求められるようになります。現下、政府としてできることにも限界があり、一人ひとりが自分の命は自分で守らなければならない局面を迎えていることを踏まえ、しっかりと国民に届くメッセージを示すことが政府には求められます。



8月5日 参議院厚生労働委員会

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問



参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問

参議院厚生労働委員会にてワクチンの対供給接種率について質問



私は出演していませんが、若い世代に浸透している動画サイトAbemaTVのプライムニュースで、YouTubeで人気の西村博之さんと6人の医師に對談していただきました。1時間番組を公開していただき、公開から2週間で約140万回の再生回数で、多くの方々に視聴していただいております。ぜひ、お子さまやお孫さんや、患者さまなどに周知をしてご利用ください





6月16日 第14回難聴対策推進議員連盟総会にて。左から、日本臨床耳鼻咽喉科医会福與和正会長、国立障害者リハビリテーションセンター病院耳鼻咽喉科石川浩太郎先生、慶應義塾大学医学部小川郁名誉教授



令和3年8月5日付事務連絡
新生児聴覚検査体制整備事業について
<https://44827ace-5ff4-4fe0-99e9-a89f34499ac7.usrfiles.com/ugd/44827a-b3399cf05ba440a3a3254dc7577faf49.pdf>

(3面より)
総合聴覚センターを院内に開設するに当たり、ジャパン・ヒアリング・ビジョンが大きく貢献したと紹介いただきました。
第十三回総会の翌週、六月十六日に第十四回総会を開催し、慶應義塾大学医学部小川郁名誉教授、国立障害者リハビリテーションセンター病院耳鼻咽喉科石川浩太郎先生に『WHO「ワールド・レポート・オン・ヒアリング」について』を講演いただきました。ワールド・レポート・オン・ヒアリングは、本年三月三日(耳の日)にWHOが発表した聴覚ケアの重要性を示し、世界での取り組みを促すための報告書で、昨年三月三日に発表予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により一年遅れての発表となりました。ワールド・レポート・オン・ヒアリングでは、小児では六〇%の難聴が予防接種、母胎ケア、聴覚スクリーニング、中耳炎治療などによって予防できること

や、成人においても騒音抑制、耳毒性物質の排除などで聴力悪化を防ぐことが可能であることとされています。さまざまなタイミングでの検査と早期発見、治療可能な難聴疾患への適切な早期介入、ならびに不可逆的な難聴に対する適切なリハビリの重要性、常に難聴者とその家族を中心に対策(補聴器、人工内耳、手話などの視覚言語、音声認識アプリなど)さまざまな難聴支援機器)を考える必要性が示されており、議連の問題意識とも重なる部分が多くありました。
また、難聴対策の中心的な役割を担う耳鼻咽喉科の医療機関が新型コロナウイルス感染症の影響で逼迫していることについて、日本臨床耳鼻咽喉科医会福與和正会長から診療報酬面も含む国への要望についてご説明いただきました。



7月20日 自民党青年局被災地訪問事業TEAM-11で集中豪雨から1年、熊本地震から5年となる熊本県の復興状況視察



7月19日 自民党青年局で新幹線のバリアフリー化について視察



「成育基本法推進議員連盟」から田村大臣への要望



「不妊治療の適切な保険適用」について田村憲久厚生労働大臣へ要望



群馬県医師会「定時代議員会」にて挨拶



「一般社団法人甲状腺眼症の医療を前進させる患者の会」の要望を濱谷保険局長へ提出

過日東京オリンピックが開催され連日多くのアスリートが人生をかけた集大成の競技に出場され、テレビの前で観戦する我々に感動と喜びを与えてくれました。特にコロナ禍で例年とは違う状況におかれ、さまざまな思いを胸に出場された選



前橋市集団接種会場にてワクチン接種の執務

手たちの懸命な姿に心を打たれ、勇気を貰いました。開催に当たっての賛否はありましたが、さまざまな困難を乗り越え、この日本に集った選手たちへ心からの声援を送っていただきました。しかし、この開催に当たってはSNSでの誹謗中傷等があり、そのほとんどが科学的根拠のない感情的なもので、「匿名の刃」であります。多くの国民が行動自粛の長引く状況にストレスを抱えていることは事実ですが、生涯に一度あるかないかの自国開催のオリンピックを温かく見守っていただいたいことに感謝いたします。

最後に、コロナ禍において政治活動も大変難しい状況ではありますが、日本医師連盟推薦の自見はなご参議院議員が二期目に向け努力されております。共に地域医療を懸命にお支えいただいております皆さまの声をしっかりと国政へ届ける役割を担って参ります。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

緊急事態宣言法制化時に私権制限が問題となりましたが、感染症(パンデミック)への対策としては時に強い制限がなければ難しいと思います。憲法二十二条や二十九条との関係等を議論することも必要であると考えています。

連日感染者数が過去最高と報道され、全国で感染拡大が顕著になっていきます。感染年齢の割合が若年齢層へと移行し、今までの対策とは違う感染状況の段階と年代をターゲットにした対応が必要と考えています。

厚生労働省子ども家庭局母子保健課からも、新生児聴覚検査体制整備事業の活用を呼びかけ

も、ご活用にお力添え賜ります付で发出されています。日本医師連盟の先生方におかれまして上げます。

参議院議員

羽生田 たかし 活動報告

予約や接種スピードを調整せざるを得なくなっている現状に對し、国政に関わる一員としてお託びを申し上げます。全力で問題解決に力を尽くして参ります。

連日感染者数が過去最高と報道され、全国で感染拡大が顕著になっていきます。感染年齢の割合が若年齢層へと移行し、今までの対策とは違う感染状況の段階と年代をターゲットにした対応が必要と考えています。

緊急事態宣言法制化時に私権制限が問題となりましたが、感染症(パンデミック)への対策としては時に強い制限がなければ難しいと思います。憲法二十二条や二十九条との関係等を議論することも必要であると考えています。

過日東京オリンピックが開催され連日多くのアスリートが人生をかけた集大成の競技に出場され、テレビの前で観戦する我々に感動と喜びを与えてくれました。特にコロナ禍で例年とは違う状況におかれ、さまざまな思いを胸に出場された選

予約や接種スピードを調整せざるを得なくなっている現状に對し、国政に関わる一員としてお託びを申し上げます。全力で問題解決に力を尽くして参ります。